

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

国際教養学科のカリキュラム、留学制度に魅力を感じたから。

高校の先輩が同志社女子大学に通っていて、「同志社女子大学楽しいよ!」とおすすめされたから。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

6月までは部活動をしていたので、定期テスト対策ぐらいいいやってませんでした。
6月以降は、文法対策に重点を置いていました。

この時期は受験勉強と言われ、学校の定期テスト対策や、授業内容の復習(特に社会)をやっていたかんじです。

〔夏休み〕

単語をしっかりと覚え始めた。

世界史のまだ理解できていない範囲を重点的に、夏休み後半はほぼ世界史を勉強していました。

一度に沢山覚えたいからと、二つに暗記することを心がけていました。例えば、朝起きたとき、電車の中で、塾に着いてすぐ、他の教科に飽きたとき、そして寝る前にやっていました。

寝ている間に記憶が整理されるので、寝る前に見るのがおすすめです。

〔2学期～入試直前〕

志望校の過去問を解き始めた。その時に、自分は何か変わらなくて、たまたま間違えたのかをちゃんと把握するようにした。そして、ひたすら英単語! 世界史を頑張った。

12月は、少しセンター対策も取り入れた。でも一般対策も忘れたいようにした。

6:4ぐらいの割合で行っていた。私は古典が苦手だったので、特に古典の過去問を多く解いた。

1月にはほとんど一般入試の過去問に費した。同志社女子大学は文法問題が多いので、ワークのやり直しをするのがおすすめです。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

テレビは見る習慣がなかった。なのでほぼ見なかったです。

スマホのアプリは、Twitter、インスタ、Youtubeなどは消してました。LINEもあまり返さなかった。音楽聴くぐらいでした。ほとんど使っていないと思います。

行事は、適度に楽しんでいました! でも毎日残って準備する余裕はなかったです。

すごく基本的なことですが、早寝早起き、ごはんをしっかり食べる、これが本当に大切だと実感しました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

今は大丈夫だと思いますが、徐々に精神的に楽になってくると思います。たまに友達と喋ったり、好きな音楽を聴いたりして息抜きをしよう、全部で、志望校合格に向けて頑張ってください!

今から2月23日と英単語や暗記科目を、少しのいいので毎日やることをおすすめします!

最後まで諦めないことが大切です。